



悠久の時を越えて、大阪の歴史を「iPad」で絵巻物風に読める。

iPad版「八軒家かいわいマガジン」第二弾 4月8日公開

第二弾 “文明開化と造幣局の通り抜け” ～なにわの宴 桜の名所巡り～

「大水都史を編み後世に伝える会」は、八軒家浜（大阪市中央区）周辺の歴史を探訪する“絵巻物風iPadアプリ”「八軒家かいわいマガジン」の第二弾“文明開化と造幣局の通り抜け”を、造幣局の桜の通り抜け(4月14日～20日)開催に先駆け、4月8日から配信（無料）いたします。第一弾“錦絵と俳句で楽しむ天神祭”は当初の予想をこえる2000ダウンロード（3月12日時点）を記録し、多くの方からご好評いただきました。第二弾でも、新たに内容を編集し直したほか、ご利用者の声を反映し使いやすさの向上にも努めました。



“文明開化と造幣局の通り抜け”

～なにわの宴 桜の名所巡り～

八軒家かいわいには桜の名所として、造幣局の「桜の通り抜け」があります。近代国家としての貨幣制度の確立を図るため、明治新政府によって大阪に創設された造幣局は、当時の欧米文化移植の代表格であるとともに、春には「桜の通り抜け」が、桜の名所として広く親しまれてきました。

本アプリでは、造幣局をはじめとする桜の名所案内を、当時の写真や錦絵など貴重な画像資料を駆使して一巻の絵巻物に仕上げました。文明開化

が急速に進みつつあった当時の様子を、桜の名所を巡りながらお楽しみいただけます。

■特定非営利活動(NPO)法人「大水都史を編み後世に伝える会」とは？

「大水都史を編み後世に伝える会」は、大阪の身近な街の歴史を通して地域を活性化するというミッションのもとに設立されました。古代から“水の都”として栄えた大阪の歴史を今一度掘り起こし、現代のデジタル絵巻としてインターネット上にアーカイブし、歴史情報資産として後世に伝えゆく活動を行っています。

その最初の試みとして、八軒家かいわいの歴史を紹介するウェブサイト「八軒家かいわいマガジン」を立ち上げ、数多くの歴史コンテンツ（デジタル絵巻）を縦書きサイトで公開しています。

■「八軒家かいわいマガジン」iPadアプリ(無料)入手方法



本アプリはApp Storeにて無料で配信いたします。パソコンまたはiPadから、App Storeにアクセスいただき、インストールしてください。また、本アプリについての最新情報は、下記ホームページにて随時更新しております

・「八軒家かいわいマガジン」ホームページ: <http://hachikenya.org>

【本件お問い合わせ先】

NPO法人 大水都史を編み後世に伝える会（担当：津川）

E-MAIL : info@hachikenya.org TEL : 06-6943-0558 FAX : 06-6943-1387

〒540-0034大阪市中央区島町1-4-3 キタガワビル